

SICE Annual Conference 2003 in Fukuiにおける 計測制御エンジニア オーガナイズド・セッション &懇親会の報告

IL 000494M 304-0380 © 2003 SICE

SICE年次大会が8月4日(月)~6日(水)に、福井大学工学部において行われ、初日に計測制御エンジニア活動紹介のオーガナイズド・セッションの講演会(「Activities of SICE Instrument and Control Engineers」)と懇親会が行われました。

当セッションは、座長 筑波大学 青島伸治先生の司会・進行により企業や大学から8テーマの発表(以下に内容概略:発表順に)が行われました。

午前4テーマ(10:20~12:00)

■ 日揮(株) 佐藤尚史氏

フィールドバスの最近の動向とエンジニアリング作業フロー(セグメントデザイン、Factory & Site testなど)およびプラントのライフサイクルとコストについての講演。

■ 職業能力開発総合大学校 坂本憲昭氏

セルフチューニング型 SMC の検討と、PLC(ST言語による制御組み込み)によるレベル、温度のモデルプラントへの実装の紹介。

■ 東京ガス(株) 森 洋一氏

LPG基地のBOGからの流量計測にあたり、脈流のある流れでのコリオリ質量流量計の共振についての講演。

■ 三菱製紙(株)(筑波大学 社会人大学院生) 井上哲孝氏

フィルム製造プラントにおける塗布面の厚さ測定(感光層の筋状厚みムラや異物等の測定)するセンサーシステムの構築についての講演。

午後4テーマ(13:20~14:40)

■ 王子製紙(株) 森 芳立氏

製紙プラントの連釜(連続蒸解釜)におけるカップー価、Hファクター等を用いたパルプ蒸解制御と材種の銘柄変更時の制御システムについての講演。

■ (株)東芝 佐藤博司氏

サーボコントローラの開発において、サーボモータの位置決め制御を周波数解析やシミュレーションによりコントローラの設計を行った事例。

■ 東レ(株) 上原正嗣氏

フィルム製膜工程でのスタートアップ時間短縮、固定的な厚みムラの除去に、モデル予測制御(MPC)でフィルム



写真1 講演会会場風景



写真2 懇親会会場風景

の厚み制御系を組まれて、実プラントへの適用をなされた内容。

■ 横河電機(株) 角井貞友氏

プラント稼働中のトレンドデータからプロセス同定と、シミュレーションにより適正なPID定数を求めることができる同定ツールの紹介。

以上、計測制御エンジニアの活動の発表という初めての試みでしたが、30名近くの聴講者と、発表内容もプラント各種、制御、計測、ハード開発等と多岐で、当初の目的以上の成果を感じました。

また、実務的問題解決へアプローチするエンジニアの奮闘を感ずることができました。この発表内容については、「Activities of SICE Instrument and Control Engineers(計測制御エンジニアの活動状況)」として、ホームページ: <http://www.sice.or.jp/~keisoueg/>、あるいは、http://srv02.sice.or.jp/~ia-div/SICE2003KEISO_OS.htm から、一部、ご覧になることができます。

計測制御エンジニア懇親会

17:30より2時間ほど学内のセミナー室にて、講演会発表者や座長の青島先生にもご参加願えて懇談会を開催いたしました。発表者同士の情報交換や先生方との活発な会話で予定時間をオーバーするなごやかな懇親会でした。

最後に、次回開催を誓ってお開きとなりました。

(計装技術交流部会:横河電機(株) 平川正則)

(2003年12月25日投稿受付)